

iFreeNEXT FANG+インデックス

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2025年1月30日)

(作成対象期間 2024年1月31日～2025年1月30日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	無期限（設定日：2018年1月31日）		
運用方針	投資成果をNYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	FANG+インデックス・マザーファンドの受益証券	
	FANG+インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国上場企業の株式に投資し、NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
3期末(2021年2月1日)	23,345	0	81.5	24,281	83.3	96.8	3.3	—	13,329
4期末(2022年1月31日)	25,707	0	10.1	26,949	11.0	97.7	2.3	—	18,634
5期末(2023年1月30日)	23,846	0	△ 7.2	25,180	△ 6.6	96.3	3.8	—	17,619
6期末(2024年1月30日)	46,887	0	96.6	49,926	98.3	93.4	8.7	—	78,565
7期末(2025年1月30日)	71,821	0	53.2	76,644	53.5	96.6	3.9	—	526,145

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [<https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html>] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは NYSE FANG+ 指数（税引後配当込み、円ベース）です。

基準価額・騰落率

期首：46,887円

期末：71,821円（分配金0円）

騰落率：53.2%（分配金込み）

基準価額の変動要因

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことや米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFreeNEXT FANG+インデックス

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(ベンチマーク)	騰 落 率 %			
(期首)2024年 1月30日	46,887	—	49,926	—	93.4	8.7	—
1月末	46,520	△ 0.8	49,535	△ 0.8	91.4	9.7	—
2月末	51,039	8.9	54,387	8.9	92.7	8.1	—
3月末	51,414	9.7	54,826	9.8	92.8	7.5	—
4月末	53,018	13.1	56,580	13.3	94.9	5.3	—
5月末	55,340	18.0	59,102	18.4	94.1	6.3	—
6月末	62,366	33.0	66,664	33.5	94.3	6.0	—
7月末	55,710	18.8	59,600	19.4	94.4	5.8	—
8月末	53,522	14.2	57,296	14.8	95.9	4.1	—
9月末	55,306	18.0	58,817	17.8	96.1	4.1	—
10月末	62,744	33.8	66,773	33.7	95.5	4.7	—
11月末	63,134	34.7	67,247	34.7	96.2	3.8	—
12月末	72,352	54.3	77,125	54.5	93.1	8.0	—
(期末)2025年 1月30日	71,821	53.2	76,644	53.5	96.6	3.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 1. 31 ~ 2025. 1. 30)

■米国株式市況

米国株式市況は、一時的な調整を挟みながら大幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率の予想以上の低下や製造業の景況感の改善、AI（人工知能）関連企業の良好な決算などが好感され、2024年3月末までほぼ一本調子で上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が再び高まったことなどから上昇に転じ、高成長が期待されるAI関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しつつ、7月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にFRBが0.25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しました。2025年1月には、中国のディープシーク・ショックの影響で一時下落した局面もありましたが、金利が低下基調となったことや、トランプ大統領が巨額のAI関連投資を発表したことなどを受けて投資家心理が改善し、株価は上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場（米ドル／円）

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、日銀の緩和的な姿勢が意識されて円は弱含む展開となりましたが、2024年7月には、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことに加え、日銀が金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、円高米ドル安が大幅に加速しました。10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が進行しました。11月以降は、おおむね米国金利の動きに連れる展開となり、また日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことから円高米ドル安の展開となりました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高が進行しました。2025年1月に入ると、日銀が追加利上げを行う可能性が高まったことで円高米ドル安となり、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2024. 1. 31 ~ 2025. 1. 30)

■当ファンド

「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、当作成期を通じておおむね100%程度に維持しました。

■FANG+インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

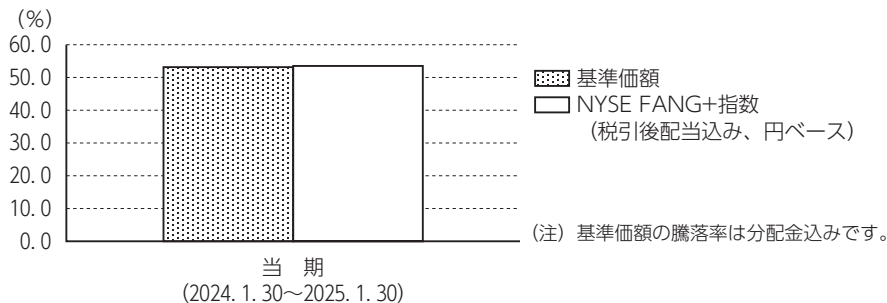
組入ファンド	ベンチマーク
FANG+インデックス・マザーファンド	NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は53.5%、当ファンドの基準価額の騰落率は53.2%となりました。

マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、運用管理費用、マザーファンドにおける売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークはNYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年1月31日 ～2025年1月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	61,820

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 1. 31～2025. 1. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	451円	0. 775%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は58, 191円です。
(投 信 会 社)	(230)	(0. 396)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(205)	(0. 352)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(16)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0. 012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0. 009)	
(先物・オプション)	(2)	(0. 003)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	4	0. 007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	463	0. 796	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

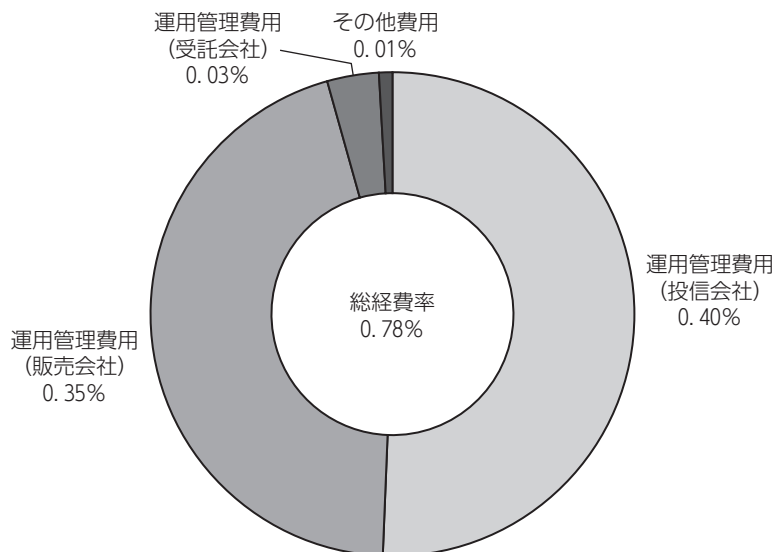
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	55,260,079	355,920,621	1,908,240	10,448,306

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

項 目	当 期
	FANG+インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	586,198,011千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	246,300,994千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.38

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	15,982,002	69,333,841	526,091,324	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
FANG+インデックス・マザーファンド	526,091,324	99.4
コール・ローン等、その他	3,231,541	0.6
投資信託財産総額	529,322,866	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.76円です。

(注3) FANG+インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(580,851,749千円)の投資信託財産総額(599,980,120千円)に対する比率は、96.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	529,322,866,498円
コール・ローン等	3,231,541,711
FANG+インデックス・マザーファンド(評価額)	526,091,324,787
(B) 負債	3,177,702,999
未払解約金	1,906,713,412
未払信託報酬	1,269,918,462
その他未払費用	1,071,125
(C) 純資産総額(A-B)	526,145,163,499
元本	73,257,937,480
次期繰越損益金	452,887,226,019
(D) 受益権総口数	73,257,937,480口
1万口当り基準価額(C/D)	71,821円

* 期首における元本額は16,756,456,657円、当作成期間中における追加設定元本額は76,854,506,677円、同解約元本額は20,353,025,854円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は71,821円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 1月31日 至 2025年 1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2, 112, 276円
受取利息	2, 124, 464
支払利息	△ 12, 188
(B) 有価証券売買損益	88, 269, 736, 009
売買益	102, 803, 690, 602
売買損	△ 14, 533, 954, 593
(C) 信託報酬等	△ 1, 951, 075, 086
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	86, 320, 773, 199
(E) 前期繰越損益金	9, 548, 000, 728
(F) 追加信託差損益金	357, 018, 452, 092
(配当等相当額)	(96, 107, 552, 577)
(売買損益相当額)	(260, 910, 899, 515)
(G) 合計 (D + E + F)	452, 887, 226, 019
次期繰越損益金 (G)	452, 887, 226, 019
追加信託差損益金	357, 018, 452, 092
(配当等相当額)	(96, 107, 552, 577)
(売買損益相当額)	(260, 910, 899, 515)
分配準備積立金	95, 868, 773, 927

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 112, 276円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	86, 318, 613, 806
(c) 収益調整金	357, 018, 452, 092
(d) 分配準備積立金	9, 548, 047, 845
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	452, 887, 226, 019
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	452, 887, 226, 019
(h) 受益権総口数	73, 257, 937, 480口

FANG+インデックス・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2025年1月30日)

(作成対象期間 2024年1月31日～2025年1月30日)

FANG+インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	投資成果を NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

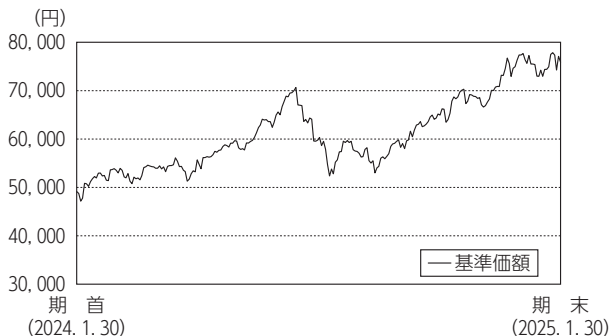
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		NYSE FANG+ 指数 (税引後配当込み、円ベース)		株組比率	式比率	投資信託受益証券組入比率
	円	%	(ベンチマーク)	%			
(期首)2024年1月30日	49,154	—	49,926	—	93.4	8.7	—
1月末	48,770	△ 0.8	49,535	△ 0.8	91.4	9.7	—
2月末	53,541	8.9	54,387	8.9	92.8	8.1	—
3月末	53,968	9.8	54,826	9.8	92.8	7.5	—
4月末	55,690	13.3	56,580	13.3	94.9	5.3	—
5月末	58,168	18.3	59,102	18.4	94.1	6.3	—
6月末	65,593	33.4	66,664	33.5	94.3	6.0	—
7月末	58,632	19.3	59,600	19.4	94.4	5.8	—
8月末	56,361	14.7	57,296	14.8	95.9	4.1	—
9月末	58,279	18.6	58,817	17.8	96.1	4.1	—
10月末	66,161	34.6	66,773	33.7	95.5	4.7	—
11月末	66,614	35.5	67,247	34.7	96.2	3.8	—
12月末	76,389	55.4	77,125	54.5	93.1	8.0	—
(期末)2025年1月30日	75,878	54.4	76,644	53.5	96.7	3.9	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：49,154円 期末：75,878円 騰落率：54.4%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米ドル円為替相場が上昇 (円安) したことや米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、一時的な調整を挟みながら大幅に上昇しました。米国株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率の予想以上の低下や製造業の景況感の改善、AI (人工知能) 関連企業の良好な決算などが好感され、2024年3月末までほぼ一本調子で上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が再び高まったことなどから上昇に転じ、高成長が期待されるAI関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しつつ、7月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したFRB (米国連邦準備制度理事会) 議長の発言などを好感して急反発すると、FRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にFRBが0.25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しました。2025年1月には、中国のディープワーク・ショックの影響で一時的に下落した局面もありましたが、金利が低下基調となったことや、トランプ大統領が巨額のAI関連投資を発表したことなどを受けて投資家心理が改善し、株価は上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場 (米ドル/円)

米ドル円為替相場は上昇しました。米ドル円為替相場は、当作成期首より、日銀の緩和的な姿勢が意識されて円は弱含む展開となりましたが、2024年7月には、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことに加え、日銀が金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、円高米ドル安が大幅に加速しました。10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことなど日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が進行しました。11月以降は、おおむね米国金利の動きに連れる展開となり、また日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから円高米ドル安の展開となりました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高が進行しました。2025年1月に入ると、日銀が追加利上げを行う可能性が高まったことで円高米ドル安となり、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率 (株価指数先物を含む。) につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上さ

せるよう運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は53.5%、当ファンドの基準価額の騰落率は54.4%となりました。

ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

*ベンチマークは NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) です。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	8円 (5)
(先物・オプション)	(2)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用)	4 (3)
(その他)	(1)
合 計	12

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

銘 柄	当 期 買 付			当 期 売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A (アメリカ)	1,069.441	48,931,614	45,754	TESLA INC (アメリカ)	1,059.598	35,938,340	33,916
SERVICENOW INC (アメリカ)	332.726	47,735,557	143,468	SNOWFLAKE INC-CLASS A (アメリカ)	1,535.088	24,598,526	16,024
MICROSOFT CORP (アメリカ)	672.697	44,387,752	65,984	NVIDIA CORP (アメリカ)	404.525	15,245,896	37,688
NVIDIA CORP (アメリカ)	1,723.547	43,791,073	25,407	BROADCOM INC (アメリカ)	225.476	11,155,279	49,474
META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	516.212	43,400,647	84,075	META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	95.252	7,127,217	74,824
APPLE INC (アメリカ)	1,240.181	40,584,136	32,724	NETFLIX INC (アメリカ)	44.304	5,007,573	113,027
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	1,527.348	40,342,908	26,413	APPLE INC (アメリカ)	104.76	3,354,213	32,018
AMAZON.COM INC (アメリカ)	1,295.03	39,826,438	30,753	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A (アメリカ)	58.446	3,349,181	57,303
BROADCOM INC (アメリカ)	893.923	37,883,833	42,379	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	83.264	2,143,081	25,738
NETFLIX INC (アメリカ)	322.475	36,389,078	112,843	AMAZON.COM INC (アメリカ)	76.902	1,928,144	25,072

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

外 国	株 数	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	116,603.92 (21,589.47)	百株 千アメリカ・ドル 3,123,494 (—)	百株 千アメリカ・ドル 37,053.68 752,598		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種類別取引状況

(2024年1月31日から2025年1月30日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 329,663	百万円 318,753	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	当株数	期末評価額		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
			千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)	百株	百株				
APPLE INC	2,877.56	14,231.77	340,651	52,719,248	情報技術	
SERVICENOW INC	—	3,327.26	380,515	58,888,568	情報技術	
BROADCOM INC	522.75	15,786.56	325,755	50,413,946	情報技術	
AMAZON.COM INC	3,827.2	16,008.48	379,513	58,733,437	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL A	4,296.9	18,737.74	366,154	56,666,020	コミュニケーション・サービス	
META PLATFORMS INC CLASS A	1,701.74	5,911.34	399,896	61,887,942	コミュニケーション・サービス	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	—	10,109.95	401,435	62,126,202	情報技術	
TESLA INC	2,380.55	—	—	—	一般消費財・サービス	
SNOWFLAKE INC-CLASS A	2,898.19	—	—	—	情報技術	
NVIDIA CORP	1,184.58	27,384.93	338,751	52,425,195	情報技術	
NETFLIX INC	1,186.8	3,968.51	388,179	60,074,706	コミュニケーション・サービス	
MICROSOFT CORP	1,521.6	8,071.04	357,006	55,250,296	情報技術	
ファンド合計	株数、金額	22,397.87	123,537.58	3,677,859	569,185,565	
	銘柄数<比率>	10銘柄	10銘柄		<96.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	百万円 23,104	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 569,185,565	% 94.9
コール・ローン等、その他	30,794,555	5.1
投資信託財産総額	599,980,120	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.76円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (580,851,749千円) の投資信託財産総額 (599,980,120千円) に対する比率は、96.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	611,256,668,565円
コール・ローン等	20,292,124,275
株式（評価額）	569,185,565,126
未収入金	11,585,629,456
差入委託証拠金	10,193,349,708
(B) 負債	22,401,387,676
未払金	22,401,387,676
(C) 純資産総額（A－B）	588,855,280,889
元本	77,605,367,545
次期繰越損益金	511,249,913,344
(D) 受益権総口数	77,605,367,545口
1万口当り基準価額（C/D）	75,878円

*期首における元本額は20,083,545,823円、当作成期間中における追加設定元本額は60,030,163,315円、同解約元本額は2,508,341,593円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 iFreeNEXT FANG+インデックス 69,333,841,797円
 FANG+インデックス・オープン 5,753,963,817円
 iFreeETF FANG+ 2,517,561,931円

*当期末の計算口数当りの純資産額は75,878円です。

■損益の状況

当期 自 2024年1月31日 至 2025年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,097,673,207円
受取配当金	709,272,889
受取利息	170,409,472
その他収益金	218,099,964
支払利息	△ 109,118
(B) 有価証券売買損益	110,569,701,888
売買益	123,097,041,937
売買損	△ 12,527,340,049
(C) 先物取引等損益	3,880,375,154
取引益	9,320,333,893
取引損	△ 5,439,958,739
(D) その他費用	△ 15,602,482
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	115,532,147,767
(F) 前期繰越損益金	78,635,435,069
(G) 解約差損益金	△ 11,731,784,077
(H) 追加信託差損益金	328,814,114,585
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	511,249,913,344
次期繰越損益金（I）	511,249,913,344

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.